

令和 5 年 6 月 20 日現在

機関番号：82674

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K10438

研究課題名（和文）認知症とともに暮らす地域高齢者の口腔衛生および口腔機能把握に向けた訪問調査研究

研究課題名（英文）A home-visit survey study to grasp the oral hygiene and oral function of older people living with dementia in the community.

研究代表者

枝広 あや子 (Eda Hiro, Ayako)

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター（東京都健康長寿医療センター研究所）・東京都健康長寿医療センター研究所・研究員

研究者番号：90433945

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：認知機能の低下した地域在住高齢者において自ら受療行動を起こさない者の口腔衛生・口腔機能およびニーズの現状把握を行うには、専門職自らが出向いて適切な認知機能評価を含む訪問調査を行う必要がある。我々は本研究において、認知機能が低下し外出頻度が低下した高齢者に対する歯科専門職の訪問調査を行い、認知機能が低下している地域在住高齢者は、認知機能低下した者ほど口腔機能低下しており、歯周炎症面積が大きく、口腔の状態が不良であって歯科受療の合理的配慮を受けられていない状態があり潜在的な歯科治療ニーズが高いことを明らかにした。積極的な訪問歯科健診が望まれる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

地域包括ケアシステムの推進の中で、認知症とともに生きる高齢者も地域生活を継続するケースが増えている。しかしながら、そういった者の中には、社会的支援や生活支援の担い手が十分ではない者や社会的に孤立している者で、口腔の病態の自覚や問題解決行動が困難になった者がいる。本研究のような訪問調査によってのみ、生活実態や口腔の実態が明らかになるが、訪問歯科健診は未だ一般的ではない。口腔の健康の喪失で低栄養や健康障害が生じることは既知の事実であるが、歯科健診機会のないものに対しては歯科口腔保健法にも記載されるような訪問歯科健診などによる積極的な把握を行い受療への合理的配慮が受けられるようにする必要がある。

研究成果の概要（英文）：To grasp the status of oral health of community-dwelling older people with cognitive decline, it is necessary for dental professionals to visit them to conduct home-visit surveys. In this study, we conducted a visiting survey by dental professionals to elderly people with cognitive decline and reduced frequency of going out. We found that elderly people living in the community with more cognitive decline had more (1) lower oral function, (2) larger periodontal inflammation area, and (3) poorer oral health and did not receive reasonable accommodation for dental treatment. The study revealed that the potential need for dental treatment was higher in those who did not receive reasonable accommodation for dental access. The results are published under the title "Severity of Dementia is Associated with Increased Periodontal Inflamed Surface Area: Home Visit Survey of People with Cognitive Decline Living in the Community." More active visiting dental check-ups are desirable.

研究分野：高齢者歯科学

キーワード：社会歯科学 認知症高齢者 歯科医療 口腔保健 在宅訪問 受療困難 合理的配慮

1. 研究開始当初の背景

(1) 超高齢社会の課題

わが国は超高齢社会に突入し、高齢化と共に認知機能低下、あるいは認知症と診断されたものも増加の一途を辿ることも予想されて久しい。進行する核家族化に関連した独居高齢者・高齢者のみ世帯の増加が著しく、適切な医療介護の提供を得られないものも少なくない(高齢白書, 内閣府 2018)。経済面、健康面においても高齢者の生活格差が拡大している現状において、適切な医療介護に繋がっていない高齢者の実態を把握する必要がある。

(2) 高齢者の歯科ニーズの課題

8020 達成率が 50%を超えた現在、歯を多く残しつつも、適切な医療にアクセス困難である高齢者も依然として存在する。我々が行った認知症実態調査では、特に訪問を希望する高齢者のうち認知機能低下がある者において有意に歯科受診頻度の低下がみられ、咀嚼困難や食事摂取量の減少を自覚していても受療困難な者が多く存在することが明らかになった(地域ケアモデル事業報告書 H29)。すなわち外出頻度が低下し身体的フレイルの進行と同時に口腔の諸問題が放置され口腔のフレイル(オーラルフレイル)や口腔機能低下が生じ、またそれらにより精神的健康を損なうという重複課題の連鎖が生じている可能性が考えられた。受診困難である理由の一つに、歯科医療の受療は患者の自訴に依存していること、また歩行や電話予約、予約にあわせて外出することを含む受療能力に依存することが挙げられる(Ornstein KA, J Am Geriatr Soc.2015)。

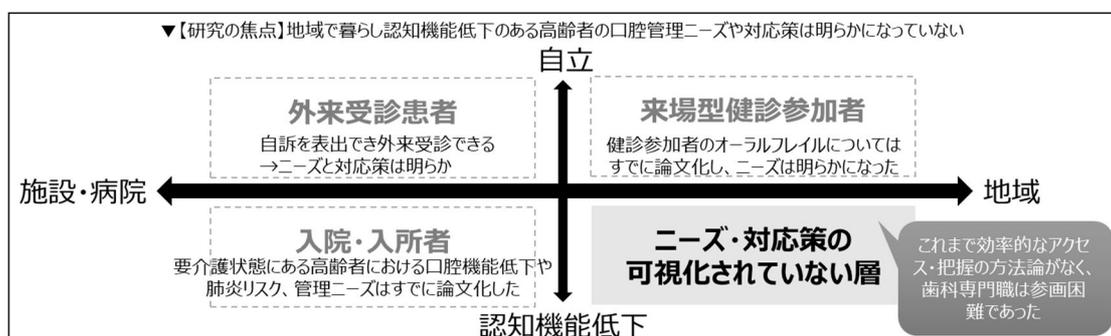


認知機能の低下した高齢者の口腔の健康は生活の質に直結し、精神科診療を必要とする高齢者は、外出し受診可能な高齢者よりも有意に歯科ニーズが高いことが示されている(Purandare N. Int Psychogeriatr. 2010)。これらに対し、我々は老年歯科医学会より「認知症患者の歯科対応および歯科治療のあり方:学会の立場表明(2015年版)」(枝広 あや子, 老年歯科医学 2015)を発行し、さらにわが国では新オレンジプランに基づき 2016 年度より全国的に「歯科医師の認知症対応力向上研修」が行われている。

(3) 可視化されていない歯科ニーズの解明の必要性

地域包括ケアシステムの枠組みにおいては、介護保険利用者に関して、介護支援専門員は訪問介護事業所等から得た利用者の口腔に関する問題や服薬状況、自身が把握した利用者の状態等について、主治の医師・歯科医師に情報伝達を行うことが義務づけられた。しかしながら認知機能の低下した地域高齢者において適切に介護保険利用に繋がっていないケースも多く、また地域在住高齢者に生じやすい口腔の不具合に関して介護支援専門員と歯科専門職の適切な情報共有は得られにくい現状である。

高齢者の口腔機能低下に関する報告の多くは歯科医院受診患者、施設入所者や来場型健診参加者を対象にしている(Takagi.D, Gerodontology. 2017, Brochier.CW, Gerodontology. 2018)。したがって歯科医院に通院困難なもの、および来場型健診に参加しない者について知見を得ることは非常に困難であり、検討は限定的で不十分である。特に人口過密地域において生活する認知機能低下のある高齢者は、地域の中で孤立しやすく、その生活支援ニーズや歯科を含む受療ニ



ニーズは可視化されにくい現状である(Moosajee S, Prim Dent J. 2015)。我々が行った訪問調査

を含む地域の認知症実態調査においては、来場型健診に参加せず訪問調査を希望した者に認知機能低下の者がより多く存在していた(佐久間尚子, 老年精神医学 2018)。こういった対象の現状把握を行うには、専門職自らが外向いて適切な認知機能評価を含む訪問調査を行う必要がある。

一方、施設入所者を含まない認知機能低下した地域在住高齢者に関して、来場型健診ではなく訪問下で行った口腔に関する調査知見は、我々が渉猟した限りでは得られなかった(PubMed および医中誌)。今後、地域で暮らす認知機能低下した高齢者が増える現状において、来場型健診に参加しないような認知機能低下した地域在住高齢者の可視化されていない歯科ニーズを把握し、必要なサービスにつなげる方法論を確立する必要がある。

2. 研究の目的

精神科医師・心理士と共に行う精緻な認知機能評価を含んだ歯科専門職の訪問調査はこれまで例がない。我々は本研究において、認知機能が低下し外出頻度が低下した高齢者に対する歯科専門職の訪問調査を行い、潜在的な歯科治療ニーズを明らかにする、口腔介入による認知機能や精神機能への影響を明らかにすることを目的とした。

3. 研究の方法

(1)対象

地域高齢者のうち来場型健診会場に来場しない者、歯科疾患の自訴の表出がない者、極度に外出頻度の低下した者を対象とする。具体的には、一連の長期縦断研究(高島平スタディ)において研究参加に同意した訪問調査参加者で、すでに認知機能低下していることが確認された者 94 名を想定した。

(2)方法

対象者に歯科医師および精神科医師・心理士等が訪問し、訪問下で実施可能な 認知機能検査 (Mini Mental State Examination-Japanese version:MMSE-J)、精神的健康度 (WHO-5)、認知機能アセスメント (the Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System (21 items) (DASC-21)、the clinical dementia rating (CDR)) 身体機能検査 (身長、体重、BMI、握力) 口腔機能検査 (歯数、歯周炎症表面積 the periodontal inflamed surface area (PISA)、Bleeding on probing (BOP)、The Simplified Oral Hygiene Index (OHI-S)、the Debris Index (DI)、Calculus Index (CI)、the repetitive saliva swallowing test (RSST))

生活問診 (既往歴、栄養スクリーニング A mini nutritional assessment (MNA)、口腔健康習慣、喫煙習慣、食事習慣等)を行った。訪問下の 1) 口腔管理用具・方法指導、2) 口腔機能向上エクササイズ指導、3) 歯科医療の受療支援、4) 栄養管理アドバイス、5) 介入の詳細な記録を行った。またその内容は必要に応じ、地域包括支援センター等の他の支援者とのケース会議 (1 回/2 月の頻度) で共有し、課題があれば再度訪問し受療支援などを行った。研究期間中に新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、訪問調査の中断、対象者数の減少、介入の制限などが発生したが、適宜合理的な解決を行った。

(3)検討方法

潜在的な歯科治療ニーズに関して、歯周関連項目を中心に検討を行った。CDR を 3 群 (0、0.5-1、2-3) に分け、PISA と認知症の重症度の分布を One-way ANOVA with Bonferroni 's post-hoc test または 2 検定を用いて検討した。PISA に関連する因子間の相関を評価するために、ピアソンの相関係数を使用した。また、CDR データの解析には、スピアマンの順位相関係数を用いた。PISA と相関のある因子から潜在的な交絡因子を選択し、PISA の多変量モデルで共変量とした。最終的な重回帰モデルの構築には、the directed acyclic graph method (DAG) を使用した。過去に PISA や認知症と相関があるとされた因子を用いて因果関係図を作成し、口腔の状態の代表値として現存歯数を選び、BOP (%)、DI、CI、OHI-S、RSST は共線性のため最終モデルから除外した。このプロセスにより実証結果のバイアスを最小化した。最終モデルは、年齢、生物学的性別、うつ病、糖尿病、膠原病、視覚障害、骨粗鬆症治療薬、歯数で調整した。重回帰分析はステップワイズ法を用い、p 値 < 0.05 を統計的に有意とした。IBM SPSS version 27 (IBM Corp., Armonk, NY, USA) を使用した。本試験は一連の長期縦断研究の二次研究であるため、事前のサンプルサイズの算出は行わなかった。

(4)倫理的配慮

研究計画はヘルシンキ宣言に則って計画され、東京都健康長寿医療センター研究所倫理審査委員会における承認 (2016-2559-33, 2019-1924-18, 2019-3146-36) を受けて実施された。

4. 研究成果

(1)認知症重症度別の基本情報 (Table1)

実際に訪問が可能であったものは 75 名であった。CDR2-3 群では、PISA、BOP、DI が有意に高値であり、また RSSTfirst は有意に低下していた。CDR2-3 群は、教育年数が長く、一人暮らしが少なく、糖尿病が多く、栄養状態不良であり、また口腔衛生のセルフケア習慣と過去 1 年以内に専門的口腔衛生管理や歯科受診の経験が少なかった。

Table1: Oral health status, sociodemographic status, clinical and behavioral characteristics stratified by CDR groups.

	CDR 0	CDR 0.5-1	CDR 2-3	Total	One way ANOVA with bonferroni post-hoc test / χ^2 test P-value	
	N = 36	N = 30	N = 9	N = 75		
	Ave \pm SD, (%)	Ave \pm SD, (%)	Ave \pm SD, (%)	Ave \pm SD, (%)		
Oral Health status						
PISA	98.8 \pm 122.2	165.7 \pm 149.6	412.6 \pm 419.0	163.2 \pm 210.7	<0.001 CDR0<CDR2-3,CDR0.5-1<CDR2-3	
No. of Present teeth (include decayed teeth)	14.4 \pm 9.3	16.0 \pm 8.0	17.4 \pm 10.0	15.4 \pm 8.8	0.579	
PESA	527.6 \pm 391.0	688.2 \pm 357.6	911.0 \pm 590.8	637.9 \pm 419.7	0.032 CDR0<CDR2-3	
BOP (%)	0.1 \pm 0.1	0.2 \pm 0.1	0.3 \pm 0.2	0.1 \pm 0.1	<0.001 CDR0<CDR2-3,CDR0.5-1<CDR2-3	
Debris Index	2.9 \pm 1.6	4.0 \pm 1.6	4.2 \pm 1.7	3.5 \pm 1.7	0.010 CDR0<CDR0.5-1	
Calculus Index	2.5 \pm 1.5	3.1 \pm 1.5	3.2 \pm 1.9	2.8 \pm 1.5	0.315	
OHI-S	5.7 \pm 2.5	7.1 \pm 2.6	7.9 \pm 2.3	6.6 \pm 2.6	0.034	
RSSTfirst (1st, min)	1.3 \pm 0.5	2.0 \pm 2.0	5.8 \pm 7.1	2.1 \pm 2.9	<0.001 CDR0<CDR2-3,CDR0.5-1<CDR2-3	
RSST (time/min)	4.3 \pm 1.4	3.8 \pm 1.1	2.9 \pm 1.2	3.9 \pm 1.4	0.026 CDR0<CDR2-3	
Sociodemographic status						
biological sex		50.0%	76.7%	44.4%	60.0%	0.053
age	81.7 \pm 5.0	86.1 \pm 5.3	82.2 \pm 2.8	83.5 \pm 5.3		0.002 CDR0<CDR0.5-1
education (years)	10.1 \pm 2.2	11.1 \pm 2.5	12.6 \pm 2.8	10.8 \pm 2.5		0.018 CDR0<CDR2-3
economic status						
economically distressed		57.6%	10.3%	22.2%	33.8%	0.002
normal		36.4%	69.0%	66.7%	53.5%	
comfortable economic status		6.1%	20.7%	11.1%	12.7%	
living alone		38.9%	63.3%	0.0%	44.0%	0.002
Clinical status						
Concomitant disease						
Hypertension	61.1%	83.3%	44.4%	68.0%	0.042	
Cerebrovascular disease	5.6%	3.3%	0.0%	4.0%	0.727	
Cardiovascular disorders	30.6%	26.7%	22.2%	28.0%	0.864	
Diabetes	25.7%	10.0%	55.6%	23.0%	0.015	
Hyperlipidaemia	47.2%	40.0%	0.0%	38.7%	0.033	
Renal disease	13.9%	3.3%	0.0%	8.0%	0.186	
Collagen disease(rheumatoid arthritis)	2.8%	0.0%	11.1%	2.7%	0.192	
Visual disorder	41.7%	66.7%	42.9%	52.1%	0.113	
Blood pressure						
systolic blood pressure	153.1 \pm 26.7	154.8 \pm 22.5	146.8 \pm 33.8	153.0 \pm 25.8	0.726	
deastolic blood pressure	87.8 \pm 17.1	88.0 \pm 21.5	87.7 \pm 24.9	87.8 \pm 19.6	0.999	
Medication						
Osteoporosis	19.4%	30.0%	22.2%	24.0%	0.601	
Hypertension	58.3%	73.3%	77.8%	66.7%	0.329	
Diabetes	22.2%	10.0%	44.4%	20.0%	0.069	
Anti-thrombotic therapy	19.4%	33.3%	33.3%	26.7%	0.397	
Cognitive Assessment						
DASC-21	23.3 \pm 4.1	30.2 \pm 9.0	61.8 \pm 10.5	30.8 \pm 14.2	< 0.001 CDR0<CDR0.5-1,CDR0<CDR2-3,CDR0.5-1<CDR2-3	
MMSE-J	24.1 \pm 2.7	21.1 \pm 3.0	12.3 \pm 3.6	21.5 \pm 4.7	< 0.001 CDR0>CDR0.5-1,CDR0>CDR2-3,CDR0.5-1>CDR2-3	
Mental health status						
depression(two-question)		25.0%	10.0%	22.2%	18.7%	0.285
WHO-5-J	16.4 \pm 6.5	15.5 \pm 6.0	15.1 \pm 4.7	15.9 \pm 6.1	0.771	
Living and behavioral status						
Alcohol						
Habitual drinkings		25.0%	30.0%	22.2%	26.7%	0.855
stopped drinkings		27.8%	20.0%	22.2%	24.0%	0.756
Smoking						
Brinkman index	519.9 \pm 608.8	252.9 \pm 305.3	530.0 \pm 449.7	450.1 \pm 524.7	0.479	
Nutrition(MNA®)	24.8 \pm 3.6	24.2 \pm 3.1	20.8 \pm 4.0	24.1 \pm 3.6	0.012 CDR0>CDR2-3,CDR0.5-1>CDR2-3	
Sweet food behavior	19.4%	13.3%	22.2%	17.3%	0.742	
Oral health self-care behavior						
before sleep		75.0%	60.0%	33.3%	64.0%	0.001
after meals		25.0%	26.7%	11.1%	24.0%	
before meals		0.0%	6.7%	11.1%	4.0%	
sometimes do not care		0.0%	6.7%	44.4%	8.0%	
POC within one year (yes)	63.9%	36.7%	22.2%	48.0%	0.023	
Dental consultation within one year (yes)	58.3%	46.7%	44.4%	52.0%	0.569	

The distribution of PISA and each items as to dementia severity examined by one-way analysis of variance with the Bonferroni's post-hoc test or χ^2 test.

CDR: The Clinical Dementia Rating; PISA: The periodontal inflamed surface area; PESA: The Periodontal epithelial surface area; BOP: Bleeding on probing; OHI-S: Oral Hygiene Index; RSST: The Repetitive Saliva Swallowing Test; DASC-21: Dementia Assessment Sheet in Community-based Integrated Care System - 21 items(21-84); MMSE-J: The Mini Mental State Examination-Japanese(0-30); WHO-5-J: Japanese version of the World Health Organisation- Five Well-Being Index (0-25); MNA: Mini Nutritional Assessment(0-30); POC: Professional oral care include oral health instruction, professional mechanical tooth, and tongue cleaning.

(2)PISA 高値に関連する要因 (Table2)

相関係数および DAG を目安に共変量を選択し、PISA に関する重回帰分析の結果、生物学的性別、うつ病、糖尿病、膠原病、視覚障害、骨粗鬆症の治療薬を調整した上で、歯の数 ($r = 0.479$ 、 $p < 0.001$)、CDR ($r = 0.258$ 、 $p = 0.013$)、年齢 ($r = 0.250$ 、 $p = 0.017$) が PISA に独立に関連していた。

Table2: Multivariate linear regression analysis on PISA; The final multivariate model.

	Unstandardized coefficient		Standardized coefficient	t	P-value	tolerance	VIF
	B	Std.error	Beta				
(Constant)	-694.662	277.898		-2.500	0.015		
No. of Present teeth (include daciaed teeth)	9.219	1.957	0.479	4.711	<0.001	0.983	1.018
CDR	62.721	24.642	0.258	2.545	0.013	0.987	1.013
age	8.003	3.276	0.250	2.443	0.017	0.973	1.028

Determinants of PISA identified using stepwise multivariate linear regression analysis where independent variables with the least significance ($P>0.05$) were sequentially omitted. Adjusted for age, biological sex, depression, diabetes, Collagen disease, visual disorder, Medication for Osteoporosis, Number of present teeth and CDR. $R^2=0.350$, Adjusted $R^2=0.320$
VIF: Variance inflation factor; CDR: The Clinical Dementia Rating; PISA: The periodontal inflamed surface area.

(3)考察

人口密度の高い都市部の地域在住認知症患者の歯科治療の必要性を認識することは、方法論の点から非常に困難である。本研究においては、精神科医師・心理士と歯科医師のチームによる訪問を行ったことで、認知症の評価と歯周組織はじめ口腔機能の正確な評価が可能であった。結果からは、中等度から重度の認知症で歯の本数が多い高齢者は、口腔内に慢性的な炎症がある状態で生活している可能性が高いことが分かった。すなわち、認知症が重症化するにつれて歯周病が悪化することが示唆される。第一に、認知症前駆段階の高齢者は社会的孤立や無気力を経験し、これ自体が社会的障壁となり受療困難を介して歯周病の悪化につながる可能性がある。第二に、認知機能低下のある高齢者は、認知症前駆段階には口腔衛生状態の悪化から、CALが深化する。第三に、彼らの口腔内自己管理の困難さが増すことで、歯周病菌や歯肉出血が増加し、PISAが大きくなる。第四に、認知症発症後、時間が経つにつれて、歯が失われなくなり、口腔衛生が軽視されるため、PISAは悪化する。研究対象者の平均年齢は 83.5 ± 5.3 歳であった。老化現象そのものが *Porphyromonas gingivalis* 等の細菌感染に対する宿主の反応に影響を与え、炎症プロセスを助長している可能性がある。同時に認知症発症からの時間がPISAの上昇に関係していると推測される。

歯周病と認知症の関係に関して、歯周病が認知症の発症を促進させるという仮説もあるが、一方向的なものではなく、双方向的に影響しあうものであると想定される。認知症や認知機能障害において口腔衛生が悪化する理由はいくつか報告されており、視空間認知機能の低下により、口腔清掃が困難になり、また、認知症の人は、習慣への関心が薄れたり、手先の器用さが低下したりして、清掃が困難になること、また認知症の人が口腔内の問題に対して助けを求めることを妨げる社会的障壁がある可能性がある。自ら受療するためには、病識や問題解決、電話の使用、予約の遵守、計画的な行動など、様々なプロセスが必要であり、特に予防的受診や定期的な歯科受診に支障をきたす。さらに、認知症があり口腔機能低下した人は、柔らかく付着性の高い、炭水化物を中心とした食事を好むようになり、プラークコントロールがより困難になることも指摘されている。

歯周病の一般的特徴の“痛みがない”ことは、認知症高齢者にとって不具合をもたらしていた。本研究参加者は、日本における認知症高齢者の他の報告よりも多くの歯を有していた。残存歯数が多く、生活に支障がなく口腔内の痛みがない高齢者は、自発的な歯科受診の可能性が低い。地域で暮らす認知症高齢者は、緩徐に進行する生活機能低下の中で不適切な口腔セルフケアを続け、歯科治療を受けようとしない・口腔ケアに関する支援を求めない可能性がある。このような場合、口腔ケアの方法を変える機会を逃してしまう可能性がある。未治療の口腔疾患は深刻な結果をもたらすため、歯科受診の判断は、特に認知症高齢者においては、自己申告の症状や苦痛のみに基づいて行われるべきではないことが指摘されており、高齢者の口腔の健康を維持するための早期かつ継続的な取り組みを支援する必要があることは明らかである。認知症で社会的に孤立している高齢者に対し、社会からの特別な配慮が必要である。訪問歯科健診のような積極的な社会的介入は、その第一歩となる可能性がある。

(4)まとめ

地域包括ケアシステムの推進の中で、認知症とともに生きる高齢者も地域生活を継続するケースが増えている。しかしながら、そういった者の中には、社会的支援や生活支援の担い手が十分ではない者や社会的に孤立している者で、口腔の病態の自覚や問題解決行動が困難になった者がいる。本研究のような訪問調査によってのみ、生活実態や口腔の実態が明らかになるが、訪問歯科健診は未だ一般的ではない。口腔の健康の喪失で低栄養や健康障害が生じることは既知の事実であるが、歯科健診機会のないものに対しては歯科口腔保健法にも記載されるような訪問歯科健診などによる積極的な把握を行い受療への合理的配慮が受けられるようにする必要がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計80件（うち査読付論文 65件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 51件）

1. 著者名 Tsuda S, Inagaki H, Okamura T, Sugiyama M, Ogawa M, Miyamae F, Edahiro A, Ura C, Sakuma N, Awata S.	4. 巻 22(1)
2. 論文標題 Promoting cultural change towards dementia friendly communities: a multi-level intervention in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Geriatr	6. 最初と最後の頁 360
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12877-022-03030-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Ura C, Sugiyama M, Inagaki H, Miyamae F, Edahiro A, Taga T, Tsuda S, Nakayama R, Ito K, Awata S.	4. 巻 22(3)
2. 論文標題 Factors associated with inability to attend a follow-up assessment, mortality, and institutionalization among community-dwelling older people with cognitive impairment during a 5-year period: evidence from community-based participatory research	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 332-342
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/psyg.12816	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki M, Ohara Y, Motokawa K, Hayakawa M, Shirobe M, Edahiro A, Watanabe Y, Awata S, Okamura T, Inagaki H, Sakuma N, Obuchi S, Kawai H, Ejiri M, Ito K, Fujiwara Y, Kitamura A, Nofuji Y, Abe T, Iijima K, Tanaka T, Son BK, Shinkai S, Hirano H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Population-based reference values for tongue pressure in Japanese older adults: A pooled analysis of over 5,000 participants	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Prosthodont Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2186/jpr.JPR_D_21_00272	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Sakuma N, Inagaki H, Ogawa M, Edahiro A, Ura C, Sugiyama M, Miyamae F, Suzuki H, Watanabe Y, Shinkai S, Okamura T, Awata S.	4. 巻 100
2. 論文標題 Cognitive function, daily function and physical and mental health in older adults: A comparison of venue and home-visit community surveys in Metropolitan Tokyo	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr	6. 最初と最後の頁 104617
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.archger.2021.104617	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mikami Y, Motokawa K, Shirobe M, Edahiro A, Ohara Y, Iwasaki M, Hayakawa M, Watanabe Y, Inagaki H, Kim H, Shinkai S, Awata S, Hirano H.	4. 巻 14(2)
2. 論文標題 Relationship between Eating Alone and Poor Appetite Using the Simplified Nutritional Appetite Questionnaire	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu14020337	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Meguro A, Ohara Y, Iwasaki M, Edahiro A, Shirobe M, Igarashi K, Motokawa K, Ito M, Watanabe Y, Kawai Y, Hirano H.	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 Denture wearing is associated with nutritional status among older adults requiring long-term care: A cross-sectional study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Dent Sci	6. 最初と最後の頁 500-506.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jds.2021.07.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohara Y, Iwasaki M, Shirobe M, Kawai H, Edahiro A, Motokawa K, Fujiwara Y, Kim H, Ihara K, Obuchi S, Watanabe Y, Hirano H.	4. 巻 99
2. 論文標題 Xerostomia as a key predictor of physical frailty among community-dwelling older adults in Japan: a five-year prospective cohort study from The Otassha Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr	6. 最初と最後の頁 104608
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2021.104608	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Edahiro A, Okamura T, Motohashi Y, Takahashi C, Meguro A, Sugiyama M, Miyamae F, Taga T, Ura C, Nakayama R, Yamashita M, Awata S.	4. 巻 18(22)
2. 論文標題 Severity of Dementia Is Associated with Increased Periodontal Inflamed Surface Area: Home Visit Survey of People with Cognitive Decline Living in the Community	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 11961
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph182211961	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki M, Motokawa K, Watanabe Y, Hayakawa M, Mikami Y, Shirobe M, Inagaki H, Edahiro A, Ohara Y, Hirano H, Shinkai S, Awata S.	4. 巻 16(11)
2. 論文標題 Nutritional status and body composition in cognitively impaired older persons living alone: The Takashimadaira study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0260412.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0260412	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohara Y, Kawai H, Shirobe M, Iwasaki M, Motokawa K, Edahiro A, Kim H, Fujiwara Y, Ihara K, Watanabe Y, Obuchi S, Hirano H.	4. 巻 39(1)
2. 論文標題 Association between dry mouth and physical frailty among community-dwelling older adults in Japan: The Otassha Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gerodontology	6. 最初と最後の頁 41-48.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ger.12605	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki M, Hirano H, Motokawa K, Shirobe M, Edahiro A, Ohara Y, Kawai H, Kojima M, Obuchi S, Murayama H, Fujiwara Y, Ihara K, Shinkai S, Kitamura A.	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 Interrelationships among whole-body skeletal muscle mass, masseter muscle mass, oral function, and dentition status in older Japanese adults	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Geriatr	6. 最初と最後の頁 582
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-021-02552-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Sugiyama M, Inagaki H, Miyamae F, Ura C, Sakuma N, Edahiro A, Taga T, Tsuda S, Awata S.	4. 巻 21(6)
2. 論文標題 Depressed mood and frailty among older people in Tokyo during the COVID-19 pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 892-901.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12764	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Ura C, Kugimiya Y, Okamura M, Yamamura M, Okado H, Sugiyama M, Inagaki H, Miyamae F, Edahiro A, Taga T, Ito K, Awata S.	4. 巻 36(12)
2. 論文標題 After 5 years, half of people with cognitive impairment were no longer living in the community: A community observational survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Geriatr Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1970-1971.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gps.5608	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakayama R, Sugiyama M, Ura C, Taga T, Tsuda S, Yamashita M, Miyamae F, Edahiro A, Inagaki H, Ogawa M, Okamura T, Awata S.	4. 巻 21(5)
2. 論文標題 The relationship between cognitive decline and well-being: investigation in older community-dwelling people with moderately impaired cognition	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 841-843.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12742	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki M, Motokawa K, Watanabe Y, Shirobe M, Ohara Y, Edahiro A, Kawai H, Fujiwara Y, Kim H, Ihara K, Obuchi S, Hirano H.	4. 巻 39(1)
2. 論文標題 Oral hypofunction and malnutrition among community-dwelling older adults: Evidence from the Otassha study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gerodontology	6. 最初と最後の頁 17-25.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ger.12580	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Iwasaki M, Ohara Y, Motokawa K, Edahiro A, Shirobe M, Watanabe Y, Obuchi S, Kawai H, Fujiwara Y, Ihara K, Kim H, Ueda T, Hirano H.	4. 巻 18(12)
2. 論文標題 Relationship between Oral Hypofunction and Sarcopenia in Community-Dwelling Older Adults: The Otassha Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 6666
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18126666	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi M, Ito M, Iwasa Y, Motohashi Y, Edahiro A, Shirobe M, Hirano H, Gineste Y, Honda M.	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 The effect of multimodal comprehensive care methodology training on oral health care professionals' empathy for patients with dementia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Med Educ	6. 最初と最後の頁 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12909-021-02760-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Iwasaki M, Ohara Y, Motokawa K, Edahiro A, Shirobe M, Watanabe Y, Obuchi S, Kawai H, Kera T, Fujiwara Y, Ihara K, Kim H, Igarashi K, Hoshino D, Hirano H.	4. 巻 58(2)
2. 論文標題 [The oral function of community-dwelling older adults complaining of an oral function deterioration: An examination using the oral function-related items of the Questionnaire for Latter-stage Elderly People]	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nihon Ronen Igakkai Zasshi	6. 最初と最後の頁 245-254.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3143/geriatrics.58.245	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Meguro A, Ohara Y, Edahiro A, Shirobe M, Iwasaki M, Igarashi K, Motokawa K, Ito M, Watanabe Y, Kawai Y, Hirano H.	4. 巻 95
2. 論文標題 Factors Associated with Denture Non-use in Older Adults Requiring Long-Term Care	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr	6. 最初と最後の頁 104412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2021.104412	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa M, Motokawa K, Mikami Y, Yamamoto K, Shirobe M, Edahiro A, Iwasaki M, Ohara Y, Watanabe Y, Kawai H, Kojima M, Obuchi S, Fujiwara Y, Kim H, Ihara K, Inagaki H, Shinkai S, Awata S, Araki A, Hirano H.	4. 巻 13(2)
2. 論文標題 Low Dietary Variety and Diabetes Mellitus Are Associated with Frailty among Community-Dwelling Older Japanese Adults: A Cross-Sectional Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 641
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu13020641	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Motokawa K, Yamamoto K, Hayakawa M, Mikami Y, Iwasaki M, Ohara Y, Shirobe M, Edahiro A, Watanabe Y, Obuchi S, Kawai H, Kera T, Fujiwara Y, Ihara K, Kim H, Hirano H.	4. 巻 58(1)
2. 論文標題 [Relationship between the rate of a decreased oral function and the nutrient intake in community-dwelling older persons: An examination using oral function-related items in a questionnaire for latter-stage elderly people]	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nihon Ronen Igakkai Zasshi	6. 最初と最後の頁 91-100.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3143/geriatrics.58.91	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki M, Watanabe Y, Motokawa K, Shirobe M, Inagaki H, Motohashi Y, Mikami Y, Taniguchi Y, Osuka Y, Seino S, Kim H, Kawai H, Sakurai R, Edahiro A, Ohara Y, Hirano H, Shinkai S, Awata S.	4. 巻 65(4)
2. 論文標題 Oral frailty and gait performance in community-dwelling older adults: findings from the Takashimadaira study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Prosthodont Res	6. 最初と最後の頁 467-473.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2186/jpr.JPR_D_20_00129	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ura C, Okamura T, Sugiyama M, Miyamae F, Yamashita M, Nakayama R, Edahiro A, Taga T, Inagaki H, Ogawa M, Awata S.	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 Living on the edge of the community: factors associated with discontinuation of community living among people with cognitive impairment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Geriatr	6. 最初と最後の頁 131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-021-02084-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morishita S, Ohara Y, Iwasaki M, Edahiro A, Motokawa K, Shirobe M, Furuya J, Watanabe Y, Suga T, Kanehisa Y, Ohuchi A, Hirano H.	4. 巻 18(4)
2. 論文標題 Relationship between Mortality and Oral Function of Older People Requiring Long-Term Care in Rural Areas of Japan: A Four-Year Prospective Cohort Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 1723
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18041723	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Motokawa K, Mikami Y, Shirobe M, Edahiro A, Ohara Y, Iwasaki M, Watanabe Y, Kawai H, Kera T, Obuchi S, Fujiwara Y, Ihara K, Hirano H.	4. 巻 18(3)
2. 論文標題 Relationship between Chewing Ability and Nutritional Status in Japanese Older Adults: A Cross-Sectional Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 1216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18031216	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Watanabe Y, Shirobe M, Motohashi Y, Motokawa K, Edahiro A, Ohara Y, Ryu M, Igarashi K, Hoshino D, Nakajima J, Ueda T, Taniguchi Y, Ogawa T, Maekawa K, Tamaki K, Kuboki T, Kitamura A, Shinkai S, Hirano H.	4. 巻 16(1)
2. 論文標題 A comparison of colorimetric and visual methods for the assessment of masticatory performance with color-changeable chewing gum in older persons	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Dent Sci	6. 最初と最後の頁 380-388.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jds.2020.08.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Edahiro A, Okamura T, Motohashi Y, Takahashi C, Sugiyama M, Miyamae F, Taga T, Ura C, Nakayama R, Yamashita M, Awata S.	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 Oral health as an opportunity to support isolated people with dementia: useful information during coronavirus disease 2019 pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 140-141.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12621	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara C, Shirobe M, Furuya J, Watanabe Y, Motokawa K, Edahiro A, Ohara Y, Awata S, Kim H, Fujiwara Y, Obuchi S, Hirano H, Minakuchi S.	4. 巻 92
2. 論文標題 Effect of oral health intervention on cognitive decline in community-dwelling older adults: A randomized controlled trial	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr	6. 最初と最後の頁 104267
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2020.104267	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下 真里, 岡村 毅, 宇良 千秋, 杉山 美香, 中山 莉子, 宮前 史子, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 枝広 あや子, 多賀 努, 津田 修治, 井藤 佳恵, 栗田 主一	4. 巻 20巻4号
2. 論文標題 認知機能低下を抱えた地域在住高齢者のインフォーマル・サポートと精神的健康に関する質的研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本認知症ケア学会誌	6. 最初と最後の頁 560-571
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩淵 恵理, 枝広 あや子	4. 巻 59巻11号
2. 論文標題 【高齢者施設の現状と今後の展望】高齢者施設における口腔ケア・栄養ケア	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Geriatric Medicine	6. 最初と最後の頁 1089-1094
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子, 岡村 毅, 杉山 美香, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 宮前 史子, 釘宮 由紀子, 森倉 三男, 岡村 睦子, 中山 莉子, 多賀 努, 山下 真里, 津田 修治, 井藤 佳恵, 栗田 主一	4. 巻 20巻3号
2. 論文標題 認知症などの困難を抱えた高齢者に対する地域における歯科口腔保健相談の意義と方法論 権利ベースのアプローチという観点から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本認知症ケア学会誌	6. 最初と最後の頁 435-445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子	4. 巻 59巻8号
2. 論文標題 【老年歯学を再考する-口を支える視点から-】認知症の人への歯科治療	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Geriatric Medicine	6. 最初と最後の頁 767-770
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子	4. 巻 36巻1号
2. 論文標題 認知症の人の口を支えるために 認知症の人の口を支えるために認知症の人の緩和ケアにおいて歯科に求められること	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 28-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 釘宮 嘉浩, 岩崎 正則, 小原 由紀, 本川 佳子, 枝広 あや子, 白部 麻樹, 渡邊 裕, 大淵 修一, 河合 恒, 解良 武士, 藤原 佳典, 井原 一成, 金 憲経, 五十嵐 憲太郎, 星野 大地, 平野 浩彦	4. 巻 58巻2号
2. 論文標題 地域在住高齢者における口腔機能低下有訴者の口腔機能 後期高齢者の質問票を構成する口腔機能関連項目を用いた検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本老年医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 245-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平野 浩彦, 糸田 昌隆, 梅本 丈二, 枝広 あや子, 木村 年秀, 佐々木 健, 佐藤 保, 高田 靖, 高橋 一也, 畠山 桂郎, 森田 薫, 森田 一彦, 山崎 裕, 小原 由紀, 日本老年歯科医学会支部・地域保健医療福祉委員会	4. 巻 35巻4号
2. 論文標題 日本老年歯科医学会全国版支部長会報告 新型コロナウイルス感染拡大後の地域高齢者歯科保健について (第一報)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 E98-E101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 釘宮 嘉浩, 本川 佳子, 山本 かおり, 早川 美知, 三上 友里江, 岩崎 正則, 小原 由紀, 白部 麻樹, 枝広 あや子, 渡邊 裕, 大淵 修一, 河合 恒, 解良 武士, 藤原 佳典, 井原 一成, 金 憲経, 平野 浩彦	4. 巻 58巻1号
2. 論文標題 地域在住高齢者における口腔機能低下の有訴者率と栄養素等摂取量の関連 後期高齢者の質問票を構成する口腔機能関連項目を用いた検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本老年医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 91-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 釘宮 嘉浩, 本川 佳子, 山本 かおり, 早川 美知, 三上 友里江, 岩崎 正則, 小原 由紀, 白部 麻樹, 枝 広 あや子, 渡邊 裕, 大淵 修一, 河合 恒, 解良 武士, 藤原 佳典, 井原 一成, 金 憲経, 平野 浩彦	4. 巻 58
2. 論文標題 地域在住高齢者における口腔機能低下の有訴者率と栄養素等摂取量の関連 後期高齢者の質問票を構成す る口腔機能関連項目を用いた検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本老年医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 91-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3143/geriatrics.58.91.PMID: 33627567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayakawa M, Motokawa K, Mikami Y, Yamamoto K, Shirobe M, Edahiro A, Iwasaki M, Ohara Y, Watanabe Y, Kawai H, Kojima M, Obuchi S, Fujiwara Y, Kim H, Ihara K, Inagaki H, Shinkai S, Awata S, Araki A, Hirano H.	4. 巻 13
2. 論文標題 Low Dietary Variety and Diabetes Mellitus Are Associated with Frailty among Community-Dwelling Older Japanese Adults: A Cross-Sectional Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nutrients.	6. 最初と最後の頁 641
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu13020641.PMID: 33669388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki M, Watanabe Y, Motokawa K, Shirobe M, Inagaki H, Motohashi Y, Mikami Y, Taniguchi Y, Osuka Y, Seino S, Kim H, Kawai H, Sakurai R, Edahiro A, Ohara Y, Hirano H, Shinkai S, Awata S.	4. 巻 22
2. 論文標題 Oral frailty and gait performance in community-dwelling older adults: findings from the Takashimadaira study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 J Prosthodont Res.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2186/jpr.JPR_D_20_00129.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morishita S, Ohara Y, Iwasaki M, Edahiro A, Motokawa K, Shirobe M, Furuya J, Watanabe Y, Suga T, Kanehisa Y, Ohuchi A, Hirano H.	4. 巻 18
2. 論文標題 Relationship between Mortality and Oral Function of Older People Requiring Long-Term Care in Rural Areas of Japan: A Four-Year Prospective Cohort Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health.	6. 最初と最後の頁 1723
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18041723.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Motokawa K, Mikami Y, Shirobe M, Edahiro A, Ohara Y, Iwasaki M, Watanabe Y, Kawai H, Kera T, Obuchi S, Fujiwara Y, Ihara K, Hirano H.	4. 巻 18
2. 論文標題 Relationship between Chewing Ability and Nutritional Status in Japanese Older Adults: A Cross-Sectional Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health.	6. 最初と最後の頁 1216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18031216.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki M, Motokawa K, Watanabe Y, Shirobe M, Inagaki H, Edahiro A, Ohara Y, Hirano H, Shinkai S, Awata S.	4. 巻 18
2. 論文標題 A Two-Year Longitudinal Study of the Association between Oral Frailty and Deteriorating Nutritional Status among Community-Dwelling Older Adults.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health.	6. 最初と最後の頁 213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18010213.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohara Y, Motokawa K, Watanabe Y, Shirobe M, Inagaki H, Motohashi Y, Edahiro A, Hirano H, Kitamura A, Awata S, Shinkai S.	4. 巻 87
2. 論文標題 Association of eating alone with oral frailty among community-dwelling older adults in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr.	6. 最初と最後の頁 104014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2020.104014.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Watanabe Y, Igarashi K, Hoshino D, Motokawa K, Edahiro A, Ueda T, Takano T, Sakurai K, Taniguchi Y, Kitamura A, Nasu I, Shinkai S, Hirano H.	4. 巻 151
2. 論文標題 Factors associated with masticatory performance in community-dwelling older adults: A cross-sectional study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Am Dent Assoc.	6. 最初と最後の頁 118-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.adaj.2019.10.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Ura C, Sugiyama M, Kugimiya Y, Okamura M, Ogawa M, Miyamae F, Edahiro A, Awata S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Defending community living for frail older people during the COVID-19 pandemic.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics.	6. 最初と最後の頁 944-945
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12598.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Edahiro A, Okamura T, Motohashi Y, Takahashi C, Sugiyama M, Miyamae F, Taga T, Ura C, Nakayama R, Yamashita M, Awata S.	4. 巻 21
2. 論文標題 Oral health as an opportunity to support isolated people with dementia: useful information during coronavirus disease 2019 pandemic.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics.	6. 最初と最後の頁 140-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12621.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Awata S, Edahiro A, Arai T, Ikeda M, Ikeuchi T, Kawakatsu S, Konagaya Y, Miyanaga K, Ota H, Suzuki K, Tanimukai S, Utsumi K, Kakuma T.	4. 巻 20
2. 論文標題 Prevalence and subtype distribution of early-onset dementia in Japan.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics.	6. 最初と最後の頁 817-823
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12596.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami M, Iijima K, Watanabe Y, Tanaka T, Iwasa Y, Edahiro A, Ohara Y, Motokawa K, Shirobe M, Hirano H.	4. 巻 37
2. 論文標題 Development of a simple method to measure masseter muscle mass.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Gerodontology.	6. 最初と最後の頁 383-388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ger.12487.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ura C, Okamura T, Inagaki H, Ogawa M, Niikawa H, Edahiro A, Sugiyama M, Miyamae F, Sakuma N, Furuta K, Hatakeyama A, Ogisawa F, Konno M, Suzuki T, Awata S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Characteristics of detected and undetected dementia among community-dwelling older people in Metropolitan Tokyo.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 564-570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13924.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara C, Furuya J, Watanabe Y, Obana M, Shirobe M, Ohara Y, Edahiro A, Nakajima J, Motokawa K, Inagaki H, Hirano H, Minakuchi S, Shinkai S, Awata S.	4. 巻 62
2. 論文標題 Cross-sectional study of age-specific differences in salivary occult blood test results in older adults.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J Oral Sci.	6. 最初と最後の頁 410-414
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2334/josnusd.19-0392.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara C, Shirobe M, Furuya J, Watanabe Y, Motokawa K, Edahiro A, Ohara Y, Awata S, Kim H, Fujiwara Y, Obuchi S, Hirano H, Minakuchi S.	4. 巻 92
2. 論文標題 Effect of oral health intervention on cognitive decline in community-dwelling older adults: A randomized controlled trial.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Arch Gerontol Geriatr.	6. 最初と最後の頁 104267
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2020.104267.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okamura T, Ura C, Sugiyama M, Ogawa M, Inagaki H, Miyamae F, Edahiro A, Kugimiya Y, Okamura M, Yamashita M, Awata S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Everyday challenges facing high- risk older people living in the community: a community-based participatory study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Geriatr.	6. 最初と最後の頁 68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-020-1470-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maekawa K, Ikeuchi T, Shinkai S, Hirano H, Ryu M, Tamaki K, Yatani H, Kuboki T; Kusatsu ISLE Study Working Group Collaborators,	4. 巻 20
2. 論文標題 Number of functional teeth more strongly predicts all-cause mortality than number of present teeth in Japanese older adults.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 607-614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13911.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Edahiro A, Miyamae F, Taga T, Sugiyama M, Kikuchi K, Okamura T, Awata S.	4. 巻 20
2. 論文標題 Incidence and distribution of subtypes of early-onset dementia in Japan: A nationwide analysis based on annual performance reports of the Medical Centers for Dementia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 1050-1055
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.14043.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 杉山 美香, 岡村 毅, 小川 まどか, 宮前 史子, 枝広 あや子, 宇良 千秋, 稲垣 宏樹, 釘宮 由紀子, 岡村 睦子, 森倉 三男, 見城 澄子, 佐久間 尚子, 栗田 圭一.	4. 巻 18
2. 論文標題 大都市の大規模集合住宅地に認知症支援のための地域拠点を創出 Dementia Friendly Communities創出に向けての高島平ココからステーションの取り組み.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本認知症ケア学会誌	6. 最初と最後の頁 847-854
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 櫻井 薫, 佐藤 裕二, 水口 俊介, 津賀 一弘, 池邊 一典, 永尾 寛, 山本 健, 古屋 純一, 田村 文誉, 上田 貴之, 松尾 浩一郎, 金澤 学, 福島 正義, 吉田 光由, 猪原 健, 市川 哲雄, 服部 佳功, 西 恭宏, 原 哲也, 中島 純子, 堀 一浩, 吉川 峰加, 枝広 あや子, 平野 浩彦, 矢儀 一智, 窪木 拓男, 他	4. 巻 34
2. 論文標題 脳卒中患者への医科歯科連携に関するガイドブック.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 E1-E21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 日本老年歯科医学会 支部・地域保健医療福祉委員会 平野 浩彦, 糸田 昌隆, 梅本 丈二, 枝広あや子, 木村 年秀, 佐々木 健, 佐藤 保, 高田 靖, 高橋 一也, 畠山 桂郎, 森田 薫, 森田 一彦, 山崎 裕, 小原 由紀,	4. 巻 35
2. 論文標題 日本老年歯科医学会全国版支部長会報告新型コロナウイルス感染拡大後の地域高齢者歯科保健について 第一報	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 E98-E101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子	4. 巻 58
2. 論文標題 【高齢者の栄養食事療法】摂食嚥下障害のある高齢者の食事指導 .	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geriatric Medicine	6. 最初と最後の頁 59-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子, 尾花 三千代 .	4. 巻 40
2. 論文標題 認知症患者さんに安心を! 実例で学べる特徴と対応(第2回) 認知症患者さんの困りごと .	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 デンタルハイジーン	6. 最初と最後の頁 192-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子	4. 巻 34
2. 論文標題 認知症高齢者に対する歯科治療ガイドラインの活用 CQ「認知症患者の緩和ケアにおいて歯科に求められることは何か」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 老年歯科医学	6. 最初と最後の頁 473-476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11259/jsg.34.473	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 枝広 あや子	4. 巻 26
2. 論文標題 【認知症高齢者のケアを深める～健康管理の視点から～】認知症高齢者の食生活を支える視点.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ふれあいケア	6. 最初と最後の頁 14-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 137
2. 論文標題 管理栄養士・栄養士が知っておきたい口腔のミニマムエッセンス～オーラルフレイルの視点から Part2 口腔と食べる機能のミニマムエッセンス 口腔の解剖と機能の基礎知識	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床栄養臨時増刊号	6. 最初と最後の頁 444-452
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 137
2. 論文標題 管理栄養士・栄養士が知っておきたい口腔のミニマムエッセンス～オーラルフレイルの視点から, Part2 口腔と食べる機能のミニマムエッセンス 加齢・疾患による食べる機能の変化と障害	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床栄養臨時増刊号	6. 最初と最後の頁 510-516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 137
2. 論文標題 管理栄養士・栄養士が知っておきたい口腔のミニマムエッセンス～オーラルフレイルの視点から, Part4 オーラルフレイルの評価と対応 エンドオブライフケア (EOLC)における食支援	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 臨床栄養臨時増刊号	6. 最初と最後の頁 605-610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 17
2. 論文標題 【介護施設の「食」を考える】 ここまでできれば合格点！介護施設で行う”日常的口腔ケア”	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 介護人財	6. 最初と最後の頁 28-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 73
2. 論文標題 認知症高齢者の口腔健康管理～食を通じた生活支援のために～.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本歯科医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 P4-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Murayama, Mika Sugiyama, Hiroki Inagaki, Ayako Edahiro, Tsuyoshi Okamura, Keiko Motokawa, Shuichi Awata.	4. 巻 87
2. 論文標題 Childhood socioeconomic disadvantage as a determinant of late-life physical function in older Japanese people.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology & Geriatrics.	6. 最初と最後の頁 103894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.05.019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuyoshi Okamura, Mika Sugiyama, Hiroki Inagaki, Hiroshi Murayama, Chiaki Ura, Fumiko Miyamae, Ayako Edahiro, Keiko Motokawa, Shuichi Awata.	4. 巻 19
2. 論文標題 Anticipatory anxiety about future dementia-related care needs: Toward a dementia-friendly community.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychogeriatrics.	6. 最初と最後の頁 539-546
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/psyg.12433.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto M, Watanabe Y, Eda Hiro A, Motokawa K, Shirobe M, Hirano H, Ito K, Kanehisa Y, Yamada R, Yoshihara A.	4. 巻 23
2. 論文標題 Self-Feeding Ability as a Predictor of Mortality Japanese Nursing Home Residents: A Two-Year Longitudinal Study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Nutr Health Aging.	6. 最初と最後の頁 157-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12603-018-1125-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito K, Eda Hiro A, Watanabe Y, Ohara Y, Motohashi Y, Morishita S, Motokawa K, Watanabe Y, Hirano H, Inoue M.	4. 巻 46
2. 論文標題 Qualitative analysis of the vocabulary used in work logs of a preventive programme for elderly oral function and nutrition.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Oral Rehabil.	6. 最初と最後の頁 723-729
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12804.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim H, Awata S, Watanabe Y, Kojima N, Osuka Y, Motokawa K, Sakuma N, Inagaki H, Eda Hiro A, Hosoi E, Won CW, Shinkai S.	4. 巻 19
2. 論文標題 Cognitive frailty in community-dwelling older Japanese people: Prevalence and its association with falls.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatr Gerontol Int.	6. 最初と最後の頁 647-653
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13685. Epub 2019 May 13.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mikami Y, Watanabe Y, Motokawa K, Shirobe M, Motohashi Y, Eda Hiro A, Nakajima J, Osuka Y, Inagaki H, Fujiwara Y, Shinkai S, Awata S.	4. 巻 19
2. 論文標題 Association between decrease in frequency of going out and oral function in older adults living in major urban areas.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geriatrics & gerontology international	6. 最初と最後の頁 792-797
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ggi.13715. Epub 2019 Jul 2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi K, Watanabe Y, Kugimiya Y, Shirobe M, Edahiro A, Kaneda K, Hasegawa Y, Ito M, Hirano H, Sakurai K, Ono T, Inagaki H, Awata S, Kawai Y.	4. 巻 46
2. 論文標題 Validity of a visual scoring method using gummy jelly for evaluating chewing efficiency in a large-scale epidemiological survey.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of oral rehabilitation	6. 最初と最後の頁 409-416
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joor.12761. Epub 2019 Jan 13.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kugimiya Y, Ueda T, Watanabe Y, Takano T, Edahiro A, Awata S, Sakurai K.	4. 巻 81
2. 論文標題 Relationship between mild cognitive decline and oral motor functions in metropolitan community-dwelling older Japanese: The Takashimadaira study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archives of gerontology and geriatrics	6. 最初と最後の頁 53-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2018.11.008.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Motokawa K, Yasuda J, Mikami Y, Edahiro A, Morishita S, Shirobe M, Ohara Y, Nohara K, Hirano H, Watanabe Y.	4. 巻 86
2. 論文標題 The Mini Nutritional Assessment-Short Form as a predictor of nursing home mortality in Japan: A 30-month longitudinal study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103954
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103954.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daichi Hoshino, Yutaka Watanabe, Ayako Edahiro, Yoshihiro Kugimiya, Kentaro Igarashi, Keiko Motokawa, Yuki Ohara, Hirohiko Hirano, Mie Myers, Shouji Hironaka, Yasubumi Maruoka	4. 巻 87
2. 論文標題 Association between simple evaluation of eating and swallowing function and mortality among patients with advanced dementia in nursing homes: 1-year prospective cohort study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archives of Gerontology and Geriatrics	6. 最初と最後の頁 103969
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.archger.2019.103969.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 39 (4)
2. 論文標題 認知症の疾患別 食べるための対応方法 アルツハイマー型認知症(AD)の食を守るケア	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Modern Physician	6. 最初と最後の頁 369-373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林直樹, 枝広あや子, 前川賢治	4. 巻 134
2. 論文標題 化粧品・整容療法 認知症の人の日常に色を添えて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歯界展望	6. 最初と最後の頁 2-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 12
2. 論文標題 地域包括ケア時代の多職種チーム医療連携 認知症と共に生きる人に対する食事の支援	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地域連携入退院と在宅支援	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 枝広あや子	4. 巻 39
2. 論文標題 認知症の人の食べるを守る 認知症の疾患別 食べるための対応方法 アルツハイマー型認知症(AD)の食を守るケア	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Modern Physician	6. 最初と最後の頁 369-373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計59件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 5件）

1. 発表者名 Ayako Edahiro, Maki Shirobe, Hirohiko Hirano, Masanori Iwasaki, Keiko Motokawa, Yuki Ohara, Yoshiko Oohori, Kae Ito, Tsuyosh Okamura, Shuichi Awata.
2. 発表標題 A qualitative analysis of difficulties experienced by people living with dementia and their families while visiting the dentist.
3. 学会等名 Regional IPA/JPS Meeting 2021, 16-18 Sept, Kyoto （国際老年精神医学会 オンラインによる誌上発表）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mika Sugiyama, Hiroshi Murayama, Hiroki Inagaki, Tsuyoshi Okamura, Fumiko Miyamae, Ayako Edahiro, Chiaki Ura, Shuichi Awata.
2. 発表標題 Subjective cognitive decline was related to anxiety about becoming dementia in future : A cross-sectional study in Japan.
3. 学会等名 Regional IPA/JPS Meeting 2021, 16-18 Sept, Kyoto （国際老年精神医学会 オンラインによる誌上発表）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Okamura T, Ura C, Kugimiya Y, Okamura M, Yamamura M, Okado H, Sugiyama M, Taga T, Edahiro A, Awata S.
2. 発表標題 What happens to people living in the Tokyo metropolitan area with cognitive impairment in 5 years?
3. 学会等名 Regional IPA/JPS Meeting 2021, 16-18 Sept, Kyoto （国際老年精神医学会 オンラインによる誌上発表）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 枝広あや子、岡村毅、本橋佳子、高橋知佳、宇良千秋、宮前史子、杉山美香、多賀努、中山莉子、山下真里、粟田主一
2. 発表標題 地域で自宅で暮らす認知症高齢者の栄養状態低下の要因：都市部における自宅訪問調査。
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会（東京 + WEB開催）2021年12月21日～23日。
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 本橋佳子, 枝広あや子, 岡村毅, 高橋知佳, 宇良千秋, 宮前史子, 杉山美香, 山下真里, 栗田主一
2. 発表標題 地域に暮らす認知症機能低下高齢者への訪問調査 1 : 感染症流行下の口腔状態 .
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会 (東京 + WEB開催) 2021年12月21日 ~ 23日 .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐久間尚子, 鈴木宏幸, 稲垣宏樹, 小川将, 枝広あや子, 杉山美香, 宮前史子, 宇良千秋, 渡邊裕, 新開省二, 岡村毅, 栗田主一
2. 発表標題 大都市在住高齢者のTrail Making Testの成績 : TMT-B完遂者と未完遂者の比較 .
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会 (東京 + WEB開催) 2021年12月21日 ~ 23日 .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小原由紀, 枝広あや子, 岩崎正則, 本川佳子, 稲垣宏樹, 横山友里, 栗田主一, 北村明彦, 新開省二, 平野浩彦
2. 発表標題 地域在住高齢者における「かかりつけ歯科医」の有無とフレイルとの関連についての検討 .
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会 (東京 + WEB開催) 2021年12月21日 ~ 23日 .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 白部麻樹, 枝広あや子, 本川佳子, 小原由紀, 森下志穂, 本橋佳子, 岩崎正則, 渡邊裕, 平野浩彦
2. 発表標題 認知症重症度に注目したアルツハイマー型認知症高齢者の口腔衛生管理課題に関する検討 . 第80回日本公衆衛生学会 (東京 + WEB開催) 2021年12月21日 ~ 23日 .
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会 (東京 + WEB開催) 2021年12月21日 ~ 23日 .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 稲垣宏樹, 粟田主一, 宇良千秋, 枝広あや子, 岡村毅, 杉山美香, 宮前史子, 多賀努, 平野浩彦, 本川佳子, 小原由紀, 横山友里
2. 発表標題 大都市に一人で暮らす認知機能低下高齢者の対人・社会関係に関する報告～ 高島平2019コホートにおける大規模郵送調査の結果から～
3. 学会等名 IPA / 日本老年精神医学会, 京都 (WEB), 2021.9.16-18
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐久間尚子, 鈴木宏幸, 稲垣宏樹, 小川将, 枝広あや子, 杉山美香, 宮前史子, 宇良千秋, 岡村毅, 粟田主一
2. 発表標題 大都市に暮らす高齢者のTrail Making Testの成績 (その3) : TMT-B完遂者のエラー1回は健常範囲か?
3. 学会等名 第36回日本老年精神医学会, 京都 (WEB), 2021年9月16日～18日
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 多賀努, 井藤佳恵, 宇良千秋, 枝広あや子, 岡村毅, 岡村睦子, 釘宮由紀子, 見城澄子, 杉山美香, 津田修司, 中山莉子, 宮前史子, 山下真理, 粟田主一
2. 発表標題 心身の機能の低下した高齢者の「尊厳」観に関する実証的な研究:認知機能の低下した高齢者の尊厳観に立った支援の予備的な調査
3. 学会等名 第36回日本老年精神医学会, 京都 (WEB), 2021年9月16日～18日
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 枝広あや子
2. 発表標題 「歯科衛生士が口腔健康管理という専門性を通じて認知症の人にできること、そして求められていること」(多職種向け)、歯科衛生士関連シンポジウム
3. 学会等名 日本老年歯科医学会、2021年6月13日
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 枝広あや子
2. 発表標題 「認知症の本人と家族が体験した歯科医療、歯科医療が体験した認知症、その先にあるもの」(多職種向け)、認知症シンポジウム「認知症の人の口を支えるために」、
3. 学会等名 日本老年歯科医学会、2021年6月13日
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 枝広あや子、岡村毅、本橋佳子、高橋知佳、宇良千秋、宮前史子、杉山美香、多賀努、中山莉子、山下真里、栗田主一
2. 発表標題 訪問口腔調査で明らかになった都市部在住認知症高齢者の口腔機能低下.
3. 学会等名 第22回日本認知症ケア学会, 2021年6月5日~10月5日(オンラインによる誌上発表).(石崎賞受賞)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉山美香, 岡村毅, 枝広あや子, 宮前史子, 中山莉子, 宇良千秋, 小川まどか, 多賀努, 井藤佳恵, 栗田主一
2. 発表標題 コロナ禍の認知症支援拠点の役割とその実践~第2回目の緊急事態宣言下での地域拠点の取り組み~
3. 学会等名 第22回認知症ケア学会, 2021年6月5日~10月5日(オンラインによる誌上発表).(石崎賞受賞)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中山莉子、多賀努、岡村毅、杉山美香、宇良千秋、山下真里、宮前史子、枝広あや子、栗田主一
2. 発表標題 地域拠点において認知症とともに生きる独居高齢者の安心感を醸成するには?
3. 学会等名 第22回日本認知症ケア学会, 2021年6月5日~10月5日(オンラインによる誌上発表).
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 枝広あや子, 宮前史子, 多賀努, 杉山美香, 佐久間尚子, 宇良千秋, 稲垣宏樹, 岡村毅, 栗田主一
2. 発表標題 高齢者/認知症の人に優しいまちづくり Dementia Friendly Communitiesに向けた口腔保健の実践 大規模団地の片隅の地域介入から. 合同シンポジウム2,
3. 学会等名 日本老年学会総会第32回学術大会, 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎正則, 本川佳子, 渡邊裕, 白部麻樹, 稲垣宏樹, 枝広あや子, 小原由紀, 平野 浩彦, 新開省二, 栗田主一
2. 発表標題 地域在住高齢者における居住状況と認知機能にみた栄養状態と体組成 .
3. 学会等名 日本老年医学会第63回学術大会, 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小原由紀, 白部麻樹, 岩崎正則, 枝広あや子, 本川佳子, 渡邊裕, 大淵修一, 平野浩彦
2. 発表標題 口腔乾燥感が身体的フレイルの発現に与える影響の検討 地域在住高齢者における5年間の縦断研究 .
3. 学会等名 日本老年医学会第63回学術大会, 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 釘宮嘉浩, 岩崎正則, 小原由紀, 本川佳子, 枝広あや子, 白部麻樹, 渡邊裕, 大淵修一, 平野浩彦, 上田貴之
2. 発表標題 口腔機能低下症とサルコペニアの関連の検討 The Otassha Study .
3. 学会等名 日本老年医学会第63回学術大会, 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 枝広あや子、本橋佳子、宇良千秋、高橋知佳、目黒郁美、高城大輔、紙本千晶、深澤佳世、木元あすか、星野大地
2. 発表標題 都市部在住認知症高齢者に対する訪問口腔調査1～社会的孤立状態の人へのアプローチ～.
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第32回学術大会 . 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 本橋佳子、枝広あや子、高橋知佳、目黒郁美、高城大輔、紙本千晶、深澤佳世、木元あすか、星野大地、宇良千秋
2. 発表標題 都市部在住認知症高齢者に対する訪問口腔調査 2 ~ COVID-19流行下での実態 ~ .
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第32回学術大会 . 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松原ちあき、白部麻樹、古屋純一、渡邊裕、本川佳子、枝広あや子、小原由紀、岩崎正則、大淵修一、平野浩彦、水口俊介
2. 発表標題 高齢者における唾液検査装置に関する調査?口腔内の検査項目と多項目唾液検査結果の比較? .
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第32回学術大会 . 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 目黒郁美、小原由紀、枝広あや子、本川佳子、白部麻樹、岩崎正則、五十嵐憲太郎、伊藤誠康、渡邊裕、河相安彦、平野浩彦
2. 発表標題 要介護高齢者における義歯不使用に関連する因子の検討 .
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第32回学術大会 . 2021年6月 (WEB) .
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋知佳、岩崎正則、小原由紀、白部麻樹、枝広あや子、本橋佳子、本川佳子、渡邊裕、平野浩彦
2. 発表標題 地域在住高齢者における舌圧低下に関連する因子の検討：2年間の縦断研究。
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第32回学術大会．2021年6月（WEB）．
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 杉山美香、稲垣宏樹、村山洋史、岡村毅、宇良千秋、宮前史子、枝広あや子、粟田主一
2. 発表標題 認知症予防のための行動とその関連要因 大規模調査から効果的な認知症予防事業を考える
3. 学会等名 日本認知症予防学会第10回学術大会．2021年6月24日～26日．パシフィコ横浜ノース
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masaki Kobayashi, Mio Ito, Yasuyuki Iwasa, Yoshiko Motohashi, Ayako Edahiro, Maki Shirobe, Hirohiko Hirano, Miwako Honda.
2. 発表標題 The effect of multimodal comprehensive care methodology training on the oral health care professional's empathy for patients with dementia.
3. 学会等名 Alzheimer's Association International Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mika Sugiyama, Tsuyoshi Okamura, Fumiko Miyamae, Ayako Edahiro, Madoka Ogawa Hiroki Inagaki, Chiaki Ura, Shuichi Awata.
2. 発表標題 Building community space for supporting residents living with dementia in a housing complex district in Tokyo, Japan,
3. 学会等名 The Gerontological Society of America (GSA) 2020 Annual Scientific Meeting (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇良 千秋, 岡村 毅, 杉山 美香, 中山 莉子, 山下 真里, 宮前 史子, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 枝広 あや子, 栗田 主一.
2. 発表標題 大都市団地で認知機能低下と共に暮らす高齢者の体験世界を知る 生活拠点の変化と属性の違いについて.
3. 学会等名 第21回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡村 毅, 宇良 千秋, 杉山 美香, 中山 莉子, 山下 真里, 宮前 史子, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 枝広 あや子, 栗田 主一.
2. 発表標題 大都市団地で認知機能低下と共に暮らす高齢者の体験世界を知る 本人の語りに基づいた、本人の生活世界の探求.
3. 学会等名 第21回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山下 真里, 岡村 毅, 宇良 千秋, 杉山 美香, 中山 莉子, 宮前 史子, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 枝広 あや子, 栗田 主一.
2. 発表標題 大都市団地で認知機能低下と共に暮らす高齢者の体験世界を知る 地域生活の体験と主観的QOLの関連.
3. 学会等名 第21回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 杉山 美香, 岡村 毅, 釘宮 由紀子, 枝広 あや子, 宮前 史子, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 見城 澄子, 栗田 主一.
2. 発表標題 地域包括ケアシステムにおける認知症支援のための居場所の役割 相談事業を通して地域拠点における多機関との連携を考える.
3. 学会等名 第21回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 多賀 努, 枝広 あや子, 杉山 美香, 宮前 史子, 山村 正子, 菊地 和則, 粟田 主一.
2. 発表標題 若年性認知症の診断後支援に関する現状とその課題 若年性認知症の有病率及び生活実態に関する調査から.
3. 学会等名 第21回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 釘宮 由紀子, 岡村 睦子, 森倉 三男, 佐藤 恵, 田畑 文子, 宮前 史子, 杉山 美香, 枝広 あや子, 岡村 毅, 粟田 主一.
2. 発表標題 地域包括ケアシステムにおける認知症支援のための居場所の役割 巨大団地に孤立して住む高齢者の最期の日々に寄り添って.
3. 学会等名 第21回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菊地 和則, 中西 亜紀, 小長谷 陽子, 多賀 努, 枝広 あや子, 杉山 美香, 岡村 毅, 宮前 史子, 山村 正子, 粟田 主一.
2. 発表標題 介護保険データを用いた若年性認知症有病者数の推計における「みなし第2号被保険者」の影響.
3. 学会等名 第62回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐久間 尚子, 稲垣 宏樹, 小川 まどか, 枝広 あや子, 杉山 美香, 宮前 史子, 宇良 千秋, 岡村 毅, 粟田 主一.
2. 発表標題 大都市に暮らす高齢者の健康度 会場調査と訪問調査の比較から.
3. 学会等名 第62回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小原 由紀, 白部 麻樹, 五十嵐 憲太郎, 野藤 悠, 横山 友里, 本川 佳子, 枝広 あや子, 平野 浩彦, 北村 明彦, 新開 省二.
2. 発表標題 地域在住高齢者における咀嚼能力と歯数、栄養および体力指標との横断的関連.
3. 学会等名 第62回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋 知佳, 小原 由紀, 白部 麻樹, 枝広 あや子, 本川 佳子, 稲垣 宏樹, 粟田 主一, 新開 省二, 渡邊 裕, 平野 浩彦.
2. 発表標題 地域在住高齢者の下腿周囲径と口腔機能の低下における関連因子の検討.
3. 学会等名 日本歯科衛生学会第15回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 倉迫 小奈津, 森下 志穂, 小原 由紀, 白部 麻樹, 枝広 あや子, 本橋 佳子, 本川 佳子, 渡邊 裕, 平野 浩彦.
2. 発表標題 要介護高齢者の口腔乾燥の実態と関連因子の検討.
3. 学会等名 日本歯科衛生学会第15回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 白部 麻樹, 枝広 あや子, 小原 由紀, 森下 志穂, 本川 佳子, 本橋 佳子, 五十嵐 憲太郎, 岩崎 正則, 渡邊 裕, 平野 浩彦.
2. 発表標題 認知症重症度別の口腔衛生管理に関わる拒否等の症状の実態把握.
3. 学会等名 日本歯科衛生学会第15回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 枝広あや子.
2. 発表標題 認知症の人の緩和ケアにおいて歯科に求められていること. シンポジウム7 (認知症シンポジウム)
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 五十嵐憲太郎、小原由紀、釘宮嘉浩、星野大地、白部麻樹、本川佳子、枝広あや子、伊藤誠康、大淵修一、渡邊裕、平野浩彦、河相安彦.
2. 発表標題 地域在住高齢者の口腔機能低下症の有病率および栄養関連指標の検討.
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 本川佳子、小原由紀、白部麻樹、枝広あや子、釘宮嘉浩、大淵修一、渡邊裕、平野浩彦.
2. 発表標題 後期高齢者歯科健診質問票の口腔機能項目と栄養指標の関連.
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 濱芳央子、岩佐康行、枝広あや子、本橋恵子、白部麻樹、村上正治、高松直美、平野浩彦.
2. 発表標題 病棟職員による口腔ケアにユマニチュード®ケアを導入する効果と課題 第2報.
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 森下志穂、小原由紀、白部麻樹、本川佳子、枝広あや子、本橋佳子、平野浩彦。
2. 発表標題 通所介護施設利用者における在宅生活継続に関連する要因について。
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小原由紀、白部麻樹、本川佳子、枝広あや子、渡邊裕、平野浩彦、大淵修一。
2. 発表標題 高齢期の食欲が唾液分泌に与える影響の検討 -地域在住高齢者における6年間の縦断研究-
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 目黒郁美、五十嵐憲太郎、小原由紀、白部麻樹、本川佳子、枝広あや子、伊藤誠康、大淵修一、渡邊裕、平野浩彦、河相安彦。
2. 発表標題 口腔機能低下と低栄養の重複がフレイルに及ぼす影響：2年間の縦断調査による検討。
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 枝広あや子、宇良千秋、白部麻樹、本川佳子、本橋佳子、渡邊裕、平野浩彦。
2. 発表標題 大都市に暮らす高齢者の口腔の健康：来場型健診参加者と訪問調査参加者の比較から。
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 五十嵐憲太郎、小原由紀、星野大地、釘宮嘉浩、白部麻樹、本川佳子、枝広あや子、飯塚晃司、伊藤誠康、大淵修一、渡邊裕、平野浩彦、河相安彦。
2. 発表標題 地域在住高齢者の口腔機能低下の実態調査～パーセントイル曲線による描出～。
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第31回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 杉山美香、宮前史子、岡村毅、佐久間尚子、稲垣宏樹、宇良千秋、小川まどか、枝広あや子、栗田主一。
2. 発表標題 認知機能低下のある高齢者は日常生活でどんな支援を求めているのか：地域在住高齢者の日常生活支援ニーズと世帯状況の違いの分析。
3. 学会等名 第35回日本老年精神医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稲垣宏樹、杉山美香、宇良千秋、枝広あや子、岡村毅、多賀努、宮前史子、本川佳子、村山洋史、栗田主一。
2. 発表標題 地域に暮らす人々は認知症の人についてどのような意識を持っているのか？：「認知症の人に対する態度尺度」を用いた検討。
3. 学会等名 第36回日本老年精神医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐久間尚子、稲垣宏樹、小川まどか、枝広あや子、杉山美香、宮前史子、宇良千秋、岡村毅、栗田主一。
2. 発表標題 大都市に暮らす認知機能低下高齢者の健康度の測定：会場調査と訪問調査の比較から。
3. 学会等名 第37回日本老年精神医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 枝広 あや子, 本川 佳子, 白部 麻樹, 松原 ちあき, 釘宮 嘉浩, 五十嵐 憲太郎, 本橋 佳子, 小原 由紀, 平野 浩彦, 渡邊 裕, 粟田 主一
2. 発表標題 都市高齢者の認知機能低下と身体・口腔機能低下との関連
3. 学会等名 第30回日本老年歯科医学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 枝広 あや子
2. 発表標題 認知症高齢者に対する歯科治療ガイドラインの活用 認知症高齢者の緩和ケアにおいて歯科に求められることは何か
3. 学会等名 第30回日本老年歯科医学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉山 美香, 岡村 毅, 枝広 あや子, 宮前 史子, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 釘宮 由紀子, 森倉 三男, 岡村 睦子, 粟田 主一
2. 発表標題 高島平スタディ 認知症支援のための地域拠点における医療・保健・心理相談 高島平ココからステーションの実践
3. 学会等名 第20回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡村 毅, 杉山 美香, 小川 まどか, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 宮前 史子, 枝広 あや子, 釘宮 由紀子, 岡村 睦子, 森倉 三男, 粟田 主一
2. 発表標題 高島平スタディ 医療を受けるための支援 医師が地域相談をして分かったこと
3. 学会等名 第20回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 枝広 あや子, 釘宮 由紀子, 森倉 三男, 岡村 睦子, 杉山 美香, 岡村 毅, 小川 まどか, 宮前 史子, 稲垣 宏樹, 宇良 千秋, 粟田 圭一
2. 発表標題 高島平スタディ 地域拠点における歯科相談 歯の相談から生まれる生活の希望
3. 学会等名 第20回日本認知症ケア学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ayako Edahiro, Mika Sugiyama, Fumiko Miyamae, Tsutomu Taga, Tsuyoshi Okamura, Kazunori Kikuchi, Shuichi Awata
2. 発表標題 THE INCIDENCE OF EARLY ONSET DEMENTIA IN THE MEDICAL CENTERS FOR DEMENTIA IN JAPAN
3. 学会等名 The 11st IAGG Asia/Oceania Regional Congress
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirohiko Hirano*, Ayako Edahiro, Shuichi Awata, Tetsuo Itikawa, Yutaka Wanabe
2. 発表標題 THE STATEMENT OF POSITION FOR DENTAL CARE AND THE DENTAL TREATMENTGUIDELINE FOR THE ELDERLY PEOPLES WITH DEMENTIA
3. 学会等名 The 11st IAGG Asia/Oceania Regional Congress
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 山崎裕、渡邊裕編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 株式会社学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 309
3. 書名 Clinical Nursing Skillsひとりだちできる口腔ケア 現場で役立つ!知っておきたいIQ&A 基本知識, 器具・薬液, 症状・状態・疾患別の口腔ケア, 在宅のケアと評価・アセスメント。(担当「第3章症状・状態・疾患別の口腔ケア」「第4章在宅・評価・アセスメントなど」)	

1. 著者名 枝広あや子 . 第11章高齢者の栄養管理 3. 認知症 .	4. 発行年 2020年
2. 出版社 株式会社羊土社	5. 総ページ数 431
3. 書名 キーワードでわかる臨床栄養 令和版 栄養で治す! 基礎から実践まで (岡田晋吾 編集)	

1. 著者名 山根源之 編集代表 / 酒巻裕之・里村一人・野村武史 編集	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 280
3. 書名 歯科衛生士のための口腔内科 全身と口腔をつなぐオーラルメディシン	

1. 著者名 平野浩彦・枝広あや子・本橋佳子 編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 154
3. 書名 歯科医院で認知症の患者さんに対応するための本	

1. 著者名 深井穂博 編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 174
3. 書名 健康長寿のための 口腔保健と栄養をむすぶエビデンスブック	

1. 著者名 日本老年歯科医学会 編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 192
3. 書名 認知症の人への歯科治療ガイドライン	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------